

おおおじまだより

2012年4月号

「おおじまだより」は、1、4、7、10月に定期発行いたします
バックナンバーは会計窓口にお問い合わせください

医療法人社団 順江会 江東病院 医療連携室発行
〒136-0072 東京都江東区大島6丁目8番5号
電話：03-3685-2166 (代表)
<http://www.koto-hospital.or.jp>
E-mail: renkei@koto-hospital.or.jp

耳鼻咽喉科が新診療体制に！

当院の耳鼻咽喉科は、4月より順天堂大学付属病院から派遣された耳、鼻、頭頸部の各分野の専門医が手術を行う新体制となります。

例えば、鼻・副鼻腔疾患のウイークエンド手術は、重症な場合を除き、木曜日に入院し日曜日に退院する3泊4泊程度の短期滞在型で治療できます。難治性アレルギー性鼻炎に対する手術は内視鏡手術で、ハーモニック・スカルペルという超音波凝固装置を使う事で、出血を起こさず血管と共に神経を切ることが出来ます。4泊程度の短期入院で治療可能です。鼓膜形成術・鼓室形成術も4日間程度の入院です。耳下腺腫瘍手術、甲状腺腫瘍手術なども基本的には1週間程度の入院で治療可能です。

このように、最小の入院期間で最高の治療効果をあげる治療を行います。耳鼻咽喉の病気でお悩みの方は、お気軽に担当医にご相談下さい。

内視鏡下副鼻腔手術



内視鏡を用いて鼻の穴を経由して鼻腔・副鼻腔の病変を取り除く手術法です。

58名の新人が入職



4月1日より新しいメンバーが58名加わりました。医師11名、臨床研修医6名、コメディカル9名、看護職29名、他3名です。

約1週間にわたり病院概要、感染防止、医療安全などの初期研修を受けた後に各部署に配属されました。診療や看護、事務などの部署で皆さんと接することになりますが、各職員が誠心誠意それぞれの職務に励むことを期していますので、できるだけ早く一人前に成長するようお見守り下さい。

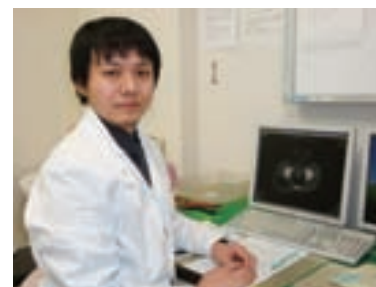
江東病院 **その** **をい** **をい**



東館エレベーターが省エネ、耐震タイプにリニューアルしました。病院らしくない、「いやし系」のパステルカラーにご注目！

そけい 鼠径ヘルニア(脱腸)の治療のご案内

ふとももの付け根が膨らむことがあれば、それは「鼠径ヘルニア」という病気である可能性があります。「脱腸」という呼び名でも知られているこの病気は、日本だけで年間15万人が手術を受けています。手術以外で根治する方法はなく、放置し続けると、「かんとん」(注1) といって、時として生命にかかわる危険な状態に陥ることがありますので、一度は私どもにご相談いただきたい病気です。

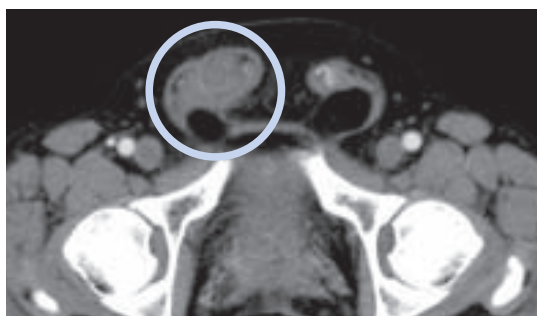


大橋先生



〇部がヘルニア

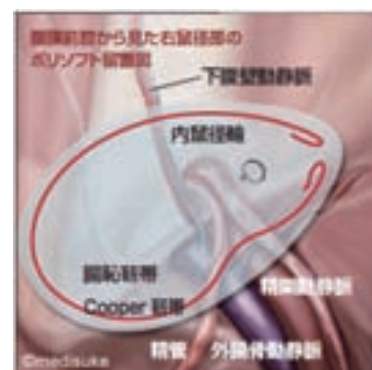
ふとももの付け根を鼠径部といいますが、ここには皮膚の下に小さな穴があります。人体の構造的な都合上、どなたにでもある穴ですが、さまざまな理由でこの穴が大きくなることがあります。そこに腸がはまったり、お腹の中に戻ったりすることで、表面から膨らみがわかるようになりますと気づかれることとなります。ですから、診断そのものは難しいものではありませんが、鼠径部の中の構造は、外目からは想像がつかないほど複雑ですので、手術には専門的な技術が必要となります。



CT画像：正常な逆側と比べ盛り上がっています。CT画像より最適な手術計画を立てます。



ポリソフトという人工材料で出来たヘルニアメッシュを使用。周囲に形状記憶リングが付いている構造で、腸がはまりこむ穴を全てカバー出来ます。



腸がはまり込む穴を見落とさないような工夫を凝らしています。



手術直後の写真
抜糸の不要な糸でキズを丁寧に縫い合わせるため、時間がたてば目立たなくなります。

近年は、メッシュと呼ばれる人工の素材を埋め込むことで手術成績が向上し、小さいキズ、短時間で手術を行うことが可能になりました。体格にもよりますが、私どもの技術では3cm前後のキズで手術を行うことができます。入院期間についてはご相談に応じますが、当院では安全を第一に考えて、手術後2泊程度をお勧めしています。

場所が場所だけに、医師に相談すること自体をためらわれているかたもいらっしゃると思いますが、脱腸は恥ずかしい病気ではありません。現在、当科では年間80件ほど手術を行っています。

当院は総合病院であるため、麻酔についても専門の医師を擁しておりますし、各科の専門家に相談できることも大きな強みであります。例えば、糖尿病や心臓・肺の病気があると手術の安全性を脅かしてしまうので、これらを手術前に見つけ出せるよう、細心の注意を払っております。まずはお話をよくうかがって、最適な治療計画を提案したいと考えておりますので、お気軽に担当医にご相談ください。

文責：外科医師 大橋直樹

日本外科学会認定外科専門医
ヘルニア手術をライフワークとし、よりよい術式の開発と、安全性向上に努めています。

注1) 「かんとん」とは、脱腸がでっぱったままかたくなり、ひっこまなくなってしまうことです。

内部で腸が締めつけられることになるので、血の巡りが悪くなり腐ってしまうこともあります。

【ご注意】当科では成人の患者さんのみを治療対象としています。中学生以下の患者さんには適切な病院を紹介いたします。本文内容の一部は主観に基づく部分もあります。また、一般のかたにわかりやすいように表現を簡略にしております。

ヒポクラテスの木



ヒポクラテスの木は、紀元前のギリシャの医聖、ヒポクラテスがこの木の原木の下で講義をした事に因んだものであり、世界中の病院に分木されています。葉が落ちた後、枝の先の方を剪定し、木のバランスを取りました。次の芽がだんだん大きくなり、新しい葉が出ようとしています。

入口歩道脇の花壇をご覧ください。

回復期リハビリテーション病棟(東4階)のご紹介

平成 22 年 10 月オープンから早 1 年半がたちました。当病棟では脳血管疾患又は大腿骨頸部骨折等の患者さんに対し、日常生活動作の能力向上を図り、家庭復帰・社会復帰を目的としたリハビリを行っています。医師・看護師・理学療法士 (PT)・作業療法士 (OT)・言語聴覚士 (ST)・医療ソーシャルワーカー (MSW) 等が共同して、患者さんと、家族の方々をサポートしています。

東 4F スタッフ

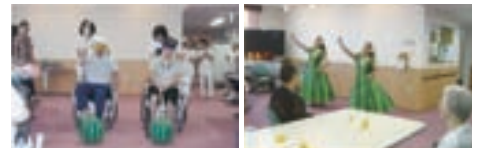


急性期病棟とちがう所

- パジャマとリハビリ着の更衣をすることで1日のメリハリをつけます。
- 排泄はなるべくトイレで
- 食事は病室ではなくデイルームで楽しく
- お風呂へ入ってリフレッシュ

レクリエーション行事が充実

- 7月 納涼会
- 12月 クリスマス会
- 2月 節分豆まき
- その他 お茶会等



すいか割やフラダンスのボランティアの方々に踊って頂きました。



リハスタッフによるハンドベルの演奏。患者さんも楽しそうです。

入院までの流れ

治療終了後
リハビリしながら
自宅復帰を目指す

電話 ・医療機関よりの紹介

会議 ・患者さんの情報を基に受入検討

面談 ・病棟の説明
・治療と展望を説明

電話連絡 ・入院の可否を紹介元に連絡

チーム連携による 質の高いサービス

毎週医師・看護師・リハスタッフ・医療ソーシャルワーカー (MSW) でリハビリステーションカンファレンスを行い患者さんの状況や方向性などを話し合っています。



患者さんが
作りました

鬼になって
ハイポーズ!



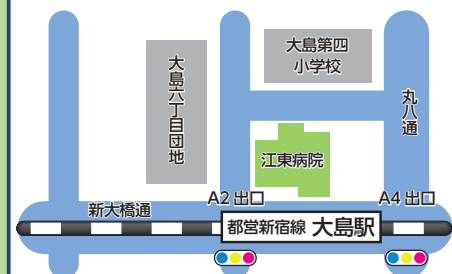
季節毎に
飾ってます!



診療科目 内科 循環器内科 消化器内科 呼吸器内科
腎・高血圧内科 糖尿病内科 膠原病・リウマチ内科
脳神経内科 小児科 外科 整形外科 麻酔科 泌尿器科
眼科 耳鼻咽喉科 婦人科 皮膚科 美容皮膚科
メンタルクリニック 放射線科 血液浄化センター
外来化学療法室 リハビリテーション科 健診センター

職員数 医師：75名、看護師：260名、技師：70名、その他：120名
関連施設 東京綾瀬腎クリニック (電話：03-5680-6888)
介護老人保健施設「かがやきライフ江東」(電話：03-3640-2111)
認知症高齢者グループホーム「サンライズホーム」(電話：03-3640-2112)
訪問看護ステーション「たんぼぼ」(電話：03-5627-5820)

厚生施設 看護師寮
院内保育所「すくすくナーサリー」



- 都営新宿線大島下車 (出口 A2) 1 分
- 総武線亀戸駅より葛西橋行、東大島行、東陽町行バスで大島駅江東病院前下車
- 駐車場 (患者さん料金)：4 時間まで 300 円以降 20 分毎 100 円 (透析患者さんは 6 時間まで 300 円以降 20 分毎に 100 円)

トピックス ア・ラ・カルト

公開健康セミナー開催案内



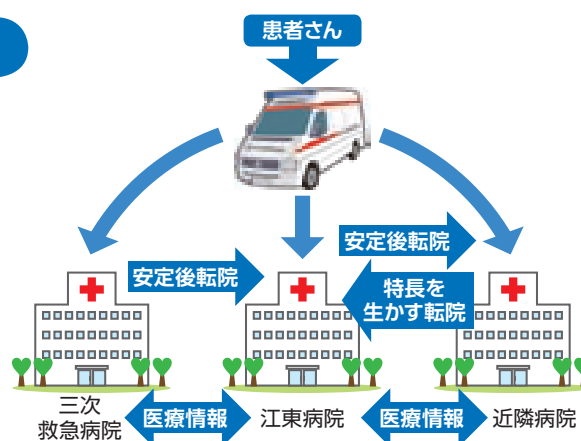
当院では、医師や医療スタッフを講師とした無料セミナーを、毎月第2木曜日と第4土曜日に行っています。皆さんふるってご参加ください。

日程	時間	セミナー名	講師
4月28日(土)	13時30分	外来化学療法に関して	仁科医師(外科)
5月10日(木)	16時	当院の糖尿病治療	野崎医師(糖尿病内科)
5月26日(土)	13時30分	新しい単径ヘルニアの治療法	大橋医師(外科)
6月14日(木)	16時	危険な胸痛とは!	平野医師(循環器内科)
6月23日(土)	13時30分	年齢と共に起きる眼の病気とその治療	濱畑医師(眼科)
7月12日(木)	16時	最近の関節リウマチの治療	河西医師(内科部長)
7月28日(土)	13時30分	乳がんから私を守るために「乳がん検診の勧め」	田中医師(外科)

場 所：本館2階北側待合室 会場の入場は30分前よりです。
定 員：50名、直接会場にお越しください
問合せ：医療連携室 電話：03-3685-2166

救急医療連携を強化します

救急医療体制をより充実したものにすることが、今最も急いで行わなければならない病院改革の一つです。三次救急病院などに救急搬送された患者さんが病状安定後、速やかに地域病院に転院することで双方の病院の特長を生かしたより良い医療が行えます。当院は住民の皆さんが適切で継続性のある医療を受けられるようにする事を目標に、聖路加病院、日本医大、東京女子医大、墨東病院との間で患者さんの積極的な受け入れ連携をスタートしました。さらに当院に救急搬送され入院した患者さんを受け入れていただく病院とも今後連携を深めていきます。より一層の充実した地域連携救急体制を強化して行きます。



研修医6名全員が修了

平成22年4月から当院の研修医として医学、医療を学んできた研修医6名が2年間の研修プログラムを修了し、都立墨東、聖路加国際、慈恵医大、東京女子医、京都医科大病院の後期研修医として羽ばたきました。また、1名は韓国に留学しました。「地域医療が勉強出来た」、「様々な手技が学べた」、「指導医が親切に指導してくれた」、「相談しやすい環境だった」、「公私ともに充実出来た2年を過ごせた」などの感想を残し、共通の意見としてはでした。「患者さんから本当に多くのことを学ばせていただいた」と言うものでした。皆さんのご協力、本当にありがとうございました。



退任医師

宮地敦子 / 呼吸器内科、高木美幸 / 腎臓内科
松井伸朗 / 外科、下山博史 / 泌尿器科

医療連携のご案内

診療予約・その他の相談
検査予約 (MRI, CT, X線, 超音波)

江東病院 医療連携室
電話：03-3685-2166 (代表)
FAX：03-3685-2766
E-mail：renkei@koto-hospital.or.jp

健診、人間ドック、その他オプション検査の予約

健診センター：03-3685-2281 (直通)
平日・土曜/午前 8:30～12:00 平日/午後 13:00～16:45

診療受付時間

		午前	午後
初診受付	平日	8:00～11:00	11:35～15:00
	土曜日	8:00～11:00	休診
再来受付	平日	8:00～11:30	11:35～15:30
	土曜日	8:00～11:00	休診

休診日

日曜日・祝日・第2土曜日
年末年始、創立記念日

休日、時間外の救急は来院前にお電話ください

電話：03-3685-2166 (代表)